

あひるのチャレンジ

令和8年1月16日



何ごとも意欲的に取り組む3学期に！

3学期が始まりました。この3カ月間は、「行く(1月)、逃げる(2月)、去る(3月)」と言われるように、あっという間に月日が過ぎ去ってしまいます。1月ももう半ばです。学校生活は200日ほどですが、そのうち50日ほどしかありません。

しかし、今学期は、各学年のまとめの時期であるとともに、次の学年への意欲を高めるとても大切な時期です。また、学校だより1月号でお伝えしたように、今年は丙午で、非常に強いエネルギーに満ちた1年だと言われています。何となく過ごしていてももったいない!このエネルギーを生かして、何事にも意欲的に取り組む!そんな思いで過ごせば、充実した毎日になり、より良い3カ月になると思っています。

学校では、子どもたちの意欲が高まるような声かけや活動をしていきます。学校・学年・学級の取り組みにご理解いただき、お子様が前向きになるお声がけをよろしくお願いします。

阪神淡路大震災・東日本大震災を経験して思うこと

1995年(平成7年)1月17日午前5時46分に発生した阪神淡路大震災から、今年で31年になります。当時、私は東大阪市で暮らしていました。大きな揺れで飛び起き、「早く治まれ…」と思った時間が長かったことを覚えています。その後、しばらくの間近くのコンビニやスーパーのおにぎりやパンなどが品薄になり、一人暮らしの私にはつらい時期でしたが、私より大変な思いをしているのだからと思い、生活していました。

2011年(平成23年)3月11日14時46分に発生した東日本大震災。6年担任で図工をしていた私は、めまいが起こったのかと頭をたたきましたが、ちがう!これは地震だ!と思い、机の下に隠れるようすぐに指示を出したこと、卒業式の練習の時に「卒業式をしたくてもできない・できなかった同級生がいる。卒業式ができることに感謝し、気持ちを込めて取り組もう。」という話をしたことを思い出します。

ご飯を食べること、寝ること、家族で楽しく過ごすこと、友達と遊ぶこと、働くこと、学校に来ること。周りにいる人を大切にする、人に優しくすること。日常の何気ないこと、当たり前のことに感謝するとともに、自分はもちろん人の命や人権を大切にすることがある。この時期になると改めて強く思います。

この機会に、いろいろなこととお子様と話してみてください。